

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-267972

(43)Date of publication of application : 29.09.2000

(51)Int.Cl.

G06F 13/00
G06F 15/177

(21)Application number : 11-073082

(71)Applicant : CASIO COMPUT CO LTD

(22)Date of filing : 18.03.1999

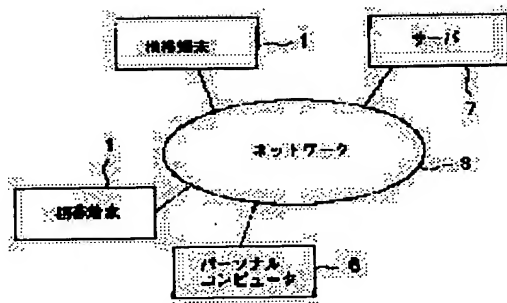
(72)Inventor : SAKAMAKI KATSUYA

(54) NETWORK SYSTEM AND SERVER DEVICE USED IN THE SAME

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To enable anyone to easily provide and browse information via a network.

SOLUTION: Information to create a home page is provided from a server 7 by connecting a terminal 1 with the server 7 via the network 8 and the home page corresponding to the terminal 1 is created at a server device by returning an instruction to the information provided from the server 7 by a portable terminal 1. When the home page is created, pieces of data about various kinds of information are stored by being related to the home page by transmitting (loading up) various kinds of information from the terminal 1 to the server 7. The pieces of data stored in the server 7 are read, provided to the terminal 1 and browsed there according to an instruction to the home page displayed at the terminal 1.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-267972
(P2000-267972A)

(43)公開日 平成12年9月29日(2000.9.29)

(51)Int.Cl.	識別記号	F I	マーク* (参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 D 5 B 0 4 5
15/177	6 7 0	15/177	6 7 0 C 5 B 0 8 9

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 14 頁)

(21)出願番号 特願平11-73082

(22)出願日 平成11年3月18日(1999.3.18)

(71)出願人 000001443

カシオ計算機株式会社

東京都渋谷区本町1丁目6番2号

(72)発明者 坂牧 勝也

東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ
計算機株式会社羽村技術センター内

(74)代理人 100058479

弁理士 鈴江 武彦 (外5名)

Fターム(参考) 5B045 AA03 BB01 BB19 BB28 BB47

5B089 GA11 GA21 GB09 GB10 HA10

JA22 JA23 JB01 JB03 JB04

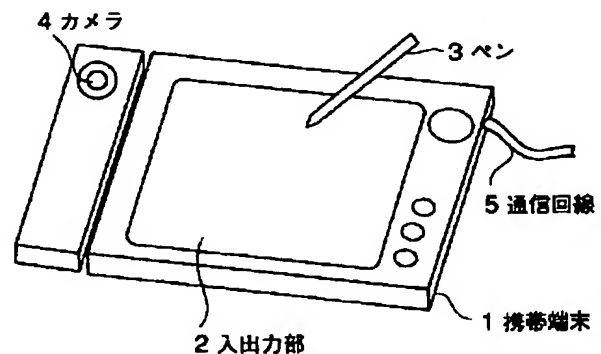
JB22 KA03 LB14 LB19

(54)【発明の名称】 ネットワークシステム、このシステムで用いられるサーバ装置

(57)【要約】

【課題】誰もが容易にネットワークを介して情報の提供と閲覧が可能となるようにする。

【解決手段】端末装置1がネットワーク8を介してサーバ7と接続することで、サーバ7からホームページを作成するための情報が提供され、このサーバ7から提供された情報に対する指示を携帯端末1が返すことにより端末装置1に対応するホームページがサーバ装置において作成される。ホームページが作成されると、端末装置1から各種の情報をサーバ7に送信(アップロード)することによって、これらのデータがホームページと関連づけて蓄積される。サーバ7に蓄積されたデータは、端末装置1において表示されたホームページに対する指示に応じて読み出され端末装置1に提供されて閲覧される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の端末装置がネットワークを介してサーバ装置と接続されるネットワークシステムにおいて、

前記サーバ装置は、ネットワークを介して接続された端末装置を判断する判断手段と、

前記判断手段によって判断された端末装置に対応する画面情報が作成されているか否かを判別する判別手段と、前記判別手段によって画面情報が作成されていないと判別された場合に、前記画面情報を作成するための情報を前記端末装置に提供し、これに対する前記端末装置からの指示に応じて画面情報を作成する画面情報作成手段と、

前記端末装置からデータを受信して、前記画面情報作成手段によって作成された画面情報と関連づけて蓄積する蓄積手段と、

前記画面情報作成手段によって作成された画面情報を、ネットワークを介して接続された端末装置に提供して表示させる画面情報提供手段と、

前記画面情報提供手段により提供した画面情報に対する端末装置で入力された指示に応じて、前記蓄積手段によって蓄積されたデータを提供するデータ提供手段とを有し、

前記端末装置は、

前記サーバ装置から提供された前記画面情報を作成するための情報に対する指示を前記サーバ装置に応答する応答手段と、

前記応答手段による応答によって自装置に対応する画面情報が前記サーバ装置において作成されている場合に、前記サーバ装置において蓄積させるためのデータを送信するデータ送信手段とを有したことを特徴とするネットワークシステム。

【請求項 2】 複数の端末装置がネットワークを介して接続されるサーバ装置において、

ネットワークを介して接続された端末装置を判断する判断手段と、

前記判断手段によって判断された端末装置に対応する画面情報が作成されているか否かを判別する判別手段と、前記判別手段によって画面情報が作成されていないと判別された場合に、前記画面情報を作成するための情報を前記端末装置に提供し、これに対する前記端末装置からの指示に応じて画面情報を作成する画面情報作成手段と、

前記端末装置からデータを受信して、前記画面情報作成手段によって作成された画面情報と関連づけて蓄積する蓄積手段と、

前記画面情報作成手段によって作成された画面情報を、ネットワークを介して接続された端末装置に提供して表示させる画面情報提供手段と、

前記画面情報提供手段により提供した画面情報に対する端末装置で入力された指示に応じて、前記蓄積手段によって蓄積されたデータを提供するデータ提供手段とを具備したことを特徴とするサーバ装置。

【請求項 3】 前記蓄積手段によって前記端末装置から受信したデータが蓄積されたことを、他の端末装置に対して通知する通知手段を具備したことを特徴とする請求項 2 記載のサーバ装置。

【請求項 4】 前記画面情報作成手段によって前記端末装置に提供される情報が前記画面情報を構成する複数のオブジェクトであって、前記端末装置からは複数のオブジェクトから画面情報の構成に用いるオブジェクトが指示されることを特徴とする請求項 2 記載のサーバ装置。

【請求項 5】 特定のデータを抽出するための嗜好データを前記端末装置から受信し、前記データ提供手段は、前記嗜好データをもとにして前記蓄積手段によって蓄積されたデータから特定のデータを抽出して提供することを特徴とする請求項 2 記載のサーバ装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、インターネットなどのネットワークを介して情報の登録や閲覧を行なうネットワークシステム、このシステムで用いられるサーバ装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年では、インターネットが広く利用されており、WWW (World Wide Web) ブラウザを用いることにより、ネットワークを介して接続された世界中に配置された WWW サーバに登録されたホームページ (Web ページを総称しているものとする) をダウンロードして画面に表示させることができる。

【0003】ところが、このホームページによって情報 (例えば写真、イメージ、電子メールなどを含む文章など) を他の人に閲覧してもらうためには、各種のデータによって構成されるホームページを作成して、プロバイダなどが管理するサーバに登録するといった作業が必要であるため、それらの作業内容に熟知した人でなければ行なうことができなかった。

【0004】また、ホームページに登録された情報を閲覧しようとする場合にも、検索エンジンなどを用いて特定のキーワードを指定したり、目的とするホームページの URL (uniform resource locator) などを指定しなければならない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】このように従来のシステムでは、ホームページなどによって情報を他に人に閲覧してもらう場合、また特定のホームページを閲覧する場合の何れであっても、それらを実行するための所定の知識が必要であり、誰もが容易に行なうことができなかった。

10

20

30

40

50

った。従って、例えば幼児や情報機器の扱いになれていない人、あるいは年配者などでは、各種の情報をネットワークを介して提供あるいは閲覧することが困難となっていた。

【0006】本発明は、前記のような問題に鑑みなされたもので、誰もが容易にネットワークを介して情報の提供と閲覧が可能なネットワークシステム、このシステムで用いられるサーバ装置を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、複数の端末装置がネットワークを介してサーバ装置と接続されるネットワークシステムにおいて、前記サーバ装置は、ネットワークを介して接続された端末装置を判断する判断手段と、前記判断手段によって判断された端末装置に対応する画面情報が作成されているか否かを判別する判別手段と、前記判別手段によって画面情報が作成されていないと判別された場合に、前記画面情報を作成するための情報を前記端末装置に提供し、これに対する前記端末装置からの指示に応じて画面情報を作成する画面情報作成手段と、前記端末装置からデータを受信して、前記画面情報作成手段によって作成された画面情報と関連づけて蓄積する蓄積手段と、前記画面情報作成手段によって作成された画面情報を、ネットワークを介して接続された端末装置に提供して表示させる画面情報提供手段と、前記画面情報提供手段により提供した画面情報に対する端末装置で入力された指示に応じて、前記蓄積手段によって蓄積されたデータを提供するデータ提供手段とを有し、前記端末装置は、前記サーバ装置から提供された前記画面情報を作成するための情報に対する指示を前記サーバ装置に伝達する伝達手段と、前記伝達手段による伝達によって自装置に対応する画面情報が前記サーバ装置において作成されている場合に、前記サーバ装置において蓄積させるためのデータを送信するデータ送信手段とを有したことを特徴とする。

【0008】つまり、端末装置がネットワークを介してサーバ装置と接続することで、サーバ装置から画面情報（ホームページ）を作成するための情報が提供され、これに対する指示をサーバ装置に返すことで端末装置に対応する画面情報がサーバ装置において作成される。この画面情報が作成されると、端末装置から各種の情報をサーバ装置に送信（アップロード）することによってこれらのデータが画面情報と関連づけて蓄積される。サーバ装置に蓄積されたデータは、端末装置において表示された画面情報に対する指示に応じて読み出され端末装置に提供されて閲覧される。

【0009】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実施の形態について説明する。

【0010】図1は、本実施形態におけるネットワークシステムで用いられる携帯端末1（端末装置）の外観構

成の一例を示している。携帯端末1は、図1に示すように筐体上部に入出力部2が設けられている。入出力部2は、表示出力と位置情報（座標データ）入力が可能であって、例えばペン3によって表示入力面上が接触されることにより、その接触位置に応じた位置情報の入力が行われる。従って、表示された内容（アイコン等）に対して、ペン3による操作によって直接的に指示することができ、誰にでも簡単に操作することが可能となっている。

【0011】また、ペン3の操作によって入出力部2の表示入力面上で手書きすることで、任意のイメージデータ（後述する落書きデータ）を作成することができる。このイメージデータは、携帯端末内部に蓄積することができる。さらに、携帯端末1には、カメラ4が搭載されている。カメラ4は、静止画像あるいは動画の撮影が可能であり、それらの画像データを携帯端末内部に蓄積することができる。

【0012】携帯端末1は、通信機能を有しており、例えば通信回線5によってネットワークと接続し、ネットワークを介して各種データの送受信を行なうことができる。なお、通信回線5による有線による接続ではなく、無線通信によってネットワークと接続する構成であっても良い。携帯端末1の詳細な機能については後述する。

【0013】図2は、本実施形態におけるネットワークシステムの構成を示している。携帯端末1やパーソナルコンピュータ6等の情報機器は、通信機能によってインターネット等のネットワーク8と接続し、サーバ7（サーバ装置）との間で各種情報の送受信を実行できる。

【0014】サーバ7は、携帯端末1やネットワーク8などから受信した情報をもとにホームページ（画面情報）を作成すると共にホームページのデータ（関連する各種データ）を蓄積し、また携帯端末1やネットワーク8などからの要求に応じて蓄積しているホームページのデータを提供する。サーバ7は、ホームページの作成、ホームページから閲覧できるデータのアップロード、閲覧対象とするデータの選択等を誰もが容易に行なうことができる機能を提供する。サーバ7の詳細な機能については後述する。

【0015】図3は本実施形態における携帯端末1の構成を示すブロック図である。携帯端末1は、各種の記憶媒体に記憶されたプログラムを読み込み、この読み込んだプログラムによって動作が制御されるコンピュータによって構成される。

【0016】図3に示すように、携帯端末1は、CPU10が表示装置11、タッチパネル12、カメラ13、通信装置14、メモリ15などの各種デバイスとバスを介して接続されることで構成されている。

【0017】CPU10は、メモリ15のプログラムエリア15dに格納されたプログラムを実行することにより各種の機能を実現する。

10

20

30

40

50

【0018】表示装置11は、CPU10により実現される各種機能を実行する際に様々なデータ等を表示する。

【0019】タッチパネル12は、ペン3によって入力面上がペン3などによって接触されることにより、その接触位置に応じた位置情報（座標データ）の入力を行なうもので、例えば透明に構成されて表示装置11の表示面と積層一体型に構成される。これにより、タッチパネル12を通して表示装置11によって表示される画面の内容を視認することができ、表示された内容（アイコン等）に対して、ペン3による操作によって直接的に指示することができ操作が簡単となっている。また、入力面上でペン3などを用いて手書きされることで入力されるイメージデータは、落書きデータとしてメモリ15に格納される。

【0020】カメラ13は、静止画像あるいは動画の撮影を行なう。カメラ13による撮像で得られたそれらの画像データは、写真データとしてメモリ15に格納される。

【0021】通信装置14は、ネットワーク8との接続を行ない、サーバ7との間でデータの送受信を実行する。

【0022】メモリ15は、プログラムや各種データが格納されてCPU10によってアクセスされるもので、例えば端末番号エリア15a、ユーザネームエリア15b、データエリア15c、プログラムエリア15d等が設けられる。端末番号エリア15aには、携帯端末1に固有の識別用の端末番号データが格納される。ユーザネームエリア15bは、携帯端末1の使用者に固有の識別用のユーザネームデータが格納される。携帯端末1の使用者が固定である場合には予め格納されていても良いし、複数人によって携帯端末1が共有される場合には携帯端末1の使用開始時に指定させて格納するするようにしても良い。端末番号とユーザネームとの組み合わせによってサーバ7が携帯端末1の使用者を識別することができる。データエリア15cは、携帯端末1において扱われる各種データが格納されるもので、ネットワーク8を介してサーバ7と接続された場合に、サーバ7にアップロードする対象となるデータ、例えば写真データ、メールデータ、落書きデータ、出来事データ等が含まれている。データエリア15cに格納されるデータは、プログラムエリア15dに格納されたそれぞれに対応するアプリケーションプログラムをCPU10が実行することにより入力される。プログラムエリア15dは、携帯端末1を制御する各種プログラムが格納されるもので、基本的な機能を制御するための制御プログラムの他、特定の目的をもった処理機能を実現するためのアプリケーションプログラムが格納される。処理機能としては、カメラ13による画像撮影（静止画、動画）、電子メールの作成や送受信、タッチパネル12からのイメージデータ

入力（落書きデータ入力）、タッチパネル12から入力された位置情報に基づく文字入力機能による文章データ入力（出来事データ入力）などがある。

【0023】図4は本実施形態におけるサーバ7の構成を示すブロック図である。サーバ7は、CPU20がRAM21、記憶装置22（記憶媒体23）、通信装置24、データベース25などの各種デバイスを介して接続されることで構成されている。

【0024】CPU20は、RAM21に格納されたプログラムを実行することにより各種の機能を実現する。CPU20により実現される処理機能としては、携帯端末1などからの指示に応じてホームページ（HP）を作成するHP作成処理、ホームページに設けられたアイコンなどに対する指示により実行される落書きコーナー処理、メールコーナー処理、ニュース配信処理などがある。各処理の詳細については後述する。

【0025】記憶装置22は、プログラム、データ等が予め記憶されている記憶媒体23を有しており、この記憶媒体23は磁氣的、光学的記憶媒体、もしくは半導体メモリで構成されている。この記憶媒体23は、記憶装置22に固定的に設けたもの、もしくは着脱自在に装着するものである。また、記憶媒体23に記憶されるプログラム、データ等は、通信回線等を介して接続された他の機器から受信して記憶する構成にしても良く、さらに、通信回線等を介して接続された他の機器側に記憶媒体を備えた記憶装置を設け、この記憶媒体に記憶されているプログラム、データを通信回線を介して使用する構成にしても良い。

【0026】通信装置24は、ネットワーク8との接続を行ない、携帯端末1やパーソナルコンピュータ6との間でデータの送受信を実行する。

【0027】データベース25は、ネットワーク8を介して接続された携帯端末1やパーソナルコンピュータ6などの情報機器から受信したデータや、携帯端末1やパーソナルコンピュータ6に対して提供するデータなどが蓄積されたもので、例えばHP作成用データ26、HPデータ27、ニュースデータ28などが含まれている。HP作成用データ26は、携帯端末1からの要求に応じてホームページを作成する際に用いられる多数のオブジェクトが用意されたもので、例えばアイコンのパターンなどが含まれている（詳細を図5に示す）。HPデータ27は、HP作成用データ26を利用して作成されたホームページに関連するデータが格納されるもので、複数人のメンバーを含むユーザ単位（例えばある家族単位）で管理される（詳細を図6に示す）。ニュースデータ28は、サーバ7を管理するサービス提供者がユーザに提供するサービスの一つであるニュース配信において用いるニュースデータが格納される。

【0028】本実施形態においては、サーバ7によって、家族コミュニケーションサービスを提供する。家族

コミュニケーションサービスは、予め家族に関する基本データを登録させることにより、この基本データに基づいたホームページを簡単に作成できるようにし、またホームページに関連するデータの登録と閲覧等を簡単な操作によってできるようにして、家族内でのコミュニケーション、すなわちホームページを通じた各種の情報のやり取りを支援することができるサービスである。

【0029】従って、サーバ7のデータベース25に用意されるHP作成用データ26には、図5(a)(b)に示すような、家族用ホームページを作成するためのオブジェクトが用意されている。

【0030】図5(a)に示すHP作成用データは、家族用ホームページ(第1層HP)を作成するためのもので、家族構成の各人(祖父、祖母、父、母、子供(息子)、子供(娘)など)にそれぞれ応じた、複数のアイコンパターンが用意されている。図5(b)に示すHP作成用データは、家族構成の各人に対応する個人用ホームページ(第2層HP)から利用できる機能を設定するためのもので、複数種類の機能(メール作成/送受信、写真データ登録/閲覧、落書きデータ登録/閲覧、出来事データ登録/閲覧、ニュース配信設定等)に対応するアイコンパターンが用意されている。

【0031】また、サーバ7のデータベース25に格納されるHPデータ27には、図6に示すような、家族用ホームページに関連するデータが格納される。

【0032】図6(a)に示すHPデータは、ある家族が家族コミュニケーションサービスに加入した場合に登録される基本データの一例を示している。基本データには、家族で使用される携帯端末1を示す端末番号、家族構成、各人に対して通常用いられている呼び名である愛称、各人のメールアドレス、この家族の名字、各人が携帯端末1を利用してサーバ7とアクセスする際に使用されるユーザネーム(図示せず)などが予め登録される。また、この基本データに基づいて家族用ホームページが作成された場合には、家族用ホームページ(第1層HP)のデータ(HP0で表している)が格納され、さらに家族構成の各人に対応する個人用ホームページが作成された場合には、各人の個人用ホームページ(第2層HP)のデータ(HP1~HP6で表している)が格納される。

【0033】また、家族構成の各人に対応する第2層HPが作成された場合には、図6(b)に示すように、各人に関係するデータ(個人データ)を格納するための領域が各人用に確保される。個人用データとしては、図6(c)に示すように、複数種類のサービスにそれぞれ対応するデータ(写真データ、メールデータ、落書きデータ、出来事データなど)、メールアドレス、ニュース配信サービスの提供を受ける際に特定の内容を抽出するための嗜好データとこの嗜好データの登録が行われているか否かを表す嗜好フラグなどが含まれている。

【0034】次に、本実施形態におけるネットワークシステムの動作について、サーバ7により提供される家族コミュニケーションサービスを例にして説明する。

【0035】はじめに、ある家族は、サーバ7によって提供される家族コミュニケーションサービスに加入するために、図6に示すように家族の基本データをサーバ7に登録する。基本データの登録は、例えば、携帯端末1やパーソナルコンピュータ6によってサーバ7が提供している既存のホームページをダウンロードし、このホームページ中で必要なデータを入力することにより行われる。

【0036】次に、基本データをサーバ7に登録したある家族が家族コミュニケーションサービスを利用する際の動作について、図7乃至図12に示すフローチャートを参照しながら説明する。図7乃至図12のフローチャートに記載した各処理機能を実現するプログラムは、CPUが読み取り可能なプログラムコマンドの形態で記憶媒体に記憶されている。

【0037】図7に示すフローチャートにより携帯端末1の動作について説明し、図8に示すフローチャートによりサーバ7の動作を説明する。

【0038】まず、携帯端末1は、ネットワーク8を介してサーバ7との接続を行なうと共に、自端末に固有の端末番号と携帯端末1の使用者に固有のユーザネームとをサーバ7に送信する(ステップA1、A2)。ユーザネームは、携帯端末1が特定の人に占有使用されるものであれば予めメモリ15(ユーザネームエリア15b)に記憶させてあっても良いし、携帯端末1が家族で共有されるものであれば、例えば携帯端末1の使用開始時に指定されてメモリ15(ユーザネームエリア15b)に記憶させるものであっても良い。なお、ユーザネームは、サーバ7に基本データとして予め登録してあるものが用いられるものとする。

【0039】サーバ7は、携帯端末1からの接続要求に応じて回線を接続し(ステップB1)、携帯端末1から送信された端末番号とユーザネームをもとにして、何れの家族の誰からのアクセスであるかを、HPデータ27に家族毎に格納された基本データを検索することにより判断する(ステップB2)。

【0040】また、サーバ7は、判断された家族に該当する基本データに第1層HPが登録されているか、すなわちこの家族に対応する家族用ホームページが既に作成されているか否かを判別する(ステップB3)。ここで、家族用ホームページが作成されていない場合、サーバ7は、家族用ホームページを作成するためのHP作成処理1を実行する(ステップB5)。また、携帯端末1では、HP作成処理1によってサーバ7から提供される情報に対して、ホームページを構成するオブジェクトの選択指示などの応答を行なうことによってホームページの作成を行なう(ステップA4)。

【0041】図9(a)にはHP作成処理1の動作を表すフローチャートを示している。

【0042】HP作成処理1を実行する場合、まずCPU20は、アクセスのあった家族に対応する基本データの家族構成を参照する(ステップC1)。そして、最初の構成員に関するアイコンデータを、HP作成用データ26から取り出して携帯端末1に送信する。例えば、図6(a)に示す基本データの例では、家族構成に「祖父」が登録されているので、図5(a)に示す第1層用のHP作成用データから「祖父」用に用意されている複数のアイコンパターンのデータを送信する(ステップC2)。

【0043】携帯端末1は、サーバ7からアイコンパターンのデータを受信すると、この複数のアイコンパターンから家族用ホームページに使用するアイコンパターンを選択させる。例えば、図13(a)に示すように、アイコン選択用ウィンドウを設け、その中に複数のアイコンパターンを一覧表示させ、この中からベン3などの操作によって任意に選択させる。携帯端末1は、アイコン選択ウィンドウ中からアイコンパターンが選択されると、その選択されたアイコンパターンのデータをサーバ7に通知する。

【0044】サーバ7は、携帯端末1から選択されたアイコンパターンのデータを受信すると、家族用ホームページ(第1層HP)のデータとして登録する(ステップC3)。

【0045】サーバ7のCPU20は、基本データの家族構成を参照して各人に対応するアイコンパターンの選択が行われたかを確認する(ステップC4)。各人のそれぞれについてのアイコンパターンの選択が行われていなければ、前述と同様にして、家族構成の各人毎に複数のアイコンパターンを携帯端末1に送信して選択させ、その選択されたアイコンパターンをホームページデータとして登録していく(ステップC2~C4)。すなわち、図6(a)に示す基本データでは、家族構成として、祖父、祖母、父、母、息子、娘が登録されているので、それぞれについてのアイコンパターンの選択と登録が行われる。

【0046】CPU20は、家族構成の各人についてのアイコンパターンの選択が行われると、それらのデータをもとにした家族用ホームページのデータを生成する。例えば、基本データ中の「名字」に登録された文字列をタイトルに用い、選択された複数のアイコンパターンを所定の位置にレイアウトすることにより家族用ホームページを作成する。

【0047】図13(b)には、図6(a)に示す基本データに基づく家族用ホームページの一例を示している。図13(b)に示す家族用ホームページのタイトルには、「凹凸さんのホームページ」のタイトルが設定され、家族構成の各人に対して選択されたアイコンパ

ーンが所定の位置にレイアウトされている。これらのアイコンは、家族用ホームページを通じた情報の登録/閲覧を行なう際に個人選択用アイコンとして用いられる。

【0048】サーバ7は、こうして作成された家族用ホームページを携帯端末1に提供し、図13(b)に示すように、表示させる(ステップA5)。

【0049】ここで、個人選択用アイコンにおいて特定のアイコンが選択された場合(ステップA6、B6)、サーバ7は、この選択されたアイコンに対応する個人用ホームページ、すなわち第2層HPが既に作成されているか否かを、選択されたアイコンに該当する第2層HPのデータが基本データ中に登録されているか参照することで判別する(ステップB7)。

【0050】ここで、第2層HPが作成されていない場合、サーバ7のCPU20は、接続時に受信されたユーザネームと、基本データに予め登録されたユーザネームをもとに携帯端末1の現在の利用者を特定し、この特定した利用者に対応するアイコンが選択されたか否かを判別する(ステップB11)。すなわち、携帯端末1において、自分(携帯端末1の現在の使用者)に対応する個人用アイコンを選択しているか否かを判別する(ステップA10)。なお、他の構成員のアイコンを選択していた場合には、他の処理を実行する(ステップA13、B13)。

【0051】一方、携帯端末1の現在の利用者自身の個人用アイコンが選択されていた場合には、サーバ7は、個人用ホームページを作成するためのHP作成処理2を実行する(ステップB12)。携帯端末1では、サーバ7から提示される情報に対して、以下に説明するような操作を行なうことで個人用ホームページを作成する(ステップA11)。

【0052】HP作成処理2により作成される第2層HPは、各人と関連して登録されている個人データの登録、または閲覧を行なうための各種機能を指定するためのアイコンが設けられた個人用ホームページである。

【0053】図9(b)には、HP作成処理2のフローチャートを示している。

【0054】まず、CPU20は、ホームページ中に設定されるタイトル画の選択をさせるための画面を携帯端末1において表示させる。例えば、図13(c)に示すように、「タイトル画はどれにする？」のメッセージと共に、タイトル画に用いることができる選択肢が設けられたタイトル種類選択ウィンドウを提示して、それらの中からタイトル画に用いる内容を選択させる(ステップD1)。

【0055】次に、CPU20は、第2層用のHP作成用データ26に用意されたメールアイコン用の複数のアイコンデータを携帯端末1に送信して表示させ、その中から使用するアイコンを選択させる(ステップD2)。例えば、図5(b)に示す第2層用のHP作成用データ

26では、図13(d)に示すようなメールアイコン選択用のウィンドウを表示させ、この中から選択させる。

【0056】以下、同様にして、写真コーナーアイコンの選択(ステップD3)、落書きコーナーアイコンの選択(ステップD4)、出来事コーナーアイコンの選択(ステップD5)、ニュースコーナーアイコンの選択(ステップD6)を、それぞれについて前述と同様にしてHP作成用データ26を順次送信しながら選択させる。

【0057】なお、全ての選択についての確定が指示されなかった場合には、同様の手順による選択によって変更が可能である(ステップD7)。

【0058】図14(a)には、ホームページ作成処理2によって作成された個人用ホームページ(第2層HP)の一例を示している。図14(a)において、Aはタイトル画、Bはメールアイコン、Cは写真コーナーアイコン、Dは落書きコーナーアイコン、Eは、ニュースコーナーアイコン、Fは出来事コーナーアイコンである。個人用ホームページ(第2層HP)では、アイコンB~Fに対する指示によって、それぞれのアイコンに該

当する機能を実行させることができる。

【0059】なお、初期状態において、タイトル画Aの領域には何も表示されない。タイトル画Aの領域においては、写真、落書きなどのタイトル種類に応じて、別途、タイトル画とする写真データや落書きデータ(イメージデータ)の選択が行われる。例えば、タイトル画の内容として写真が選択されていた場合には、データベース25中のHPデータ27に予め登録されている写真データから選択させるか、あるいは携帯端末1から別途タイトル画に用いる写真データを受信することによってタイトル画に用いる写真データを登録する。また、タイトル画の内容として落書きが選択されていた場合には、後述する落書きコーナー処理において、携帯端末1において作成されたイメージデータを受信してタイトル画のデータとして登録する。落書きコーナー処理の詳細については後述する。

【0060】このようにして、家族用のホームページ(第1層HP)、個人用ホームページ(第2層HP)の何れについても、携帯端末1では、サーバ7から提示される複数のアイコンパターンや選択肢に対する選択を行なうだけで簡単にホームページが作成されるので、ホームページ作成に要する負担が大幅に軽減される。また、ホームページに使用するアイコンパターンの変更などがある場合であっても、サーバ7にHP作成用データ26が用意されているので携帯端末1のそれぞれが対応する必要がなく、サーバ7においてのみ対応すれば良い。

【0061】こうして、家族用ホームページ(第1層HP)と個人用ホームページ(第2層HP)が作成されると、これらのホームページを通じて各種データの登録と閲覧を、ホームページ中に設けられたアイコンに対する

選択のみによって行なうことができる。

【0062】すなわち、携帯端末1において家族用ホームページの個人選択用アイコンが選択された場合(ステップA6)、サーバ7は、選択された個人選択用アイコンに対応する個人用ホームページが作成されていれば(ステップB7)、該当する個人用ホームページのデータを携帯端末1に送信する(ステップB8)。

【0063】一方、携帯端末1では、個人用ホームページをサーバ7から受信すると(ステップA7)、携帯端末1の現在の利用者に対応する個人選択用アイコンを選択していた場合(自分を選択している場合)には(ステップA8)、携帯端末1のメモリ15(データエリア15c)に予め登録されているデータ(詳細については後述する)、あるいはその時点で作成するデータをサーバ7にアップロードすると共に(ステップA9)、受信した個人用ホームページを表示装置11によって表示させる(ステップA12)。

【0064】サーバ7は、携帯端末1の現在の利用者に対応する個人選択用アイコンが選択されていた場合(ステップB9)、携帯端末1から個人データがアップロードされたら、データベース25にHPデータ27(個人データ)として格納する(ステップB10)。例えば、携帯端末1を「息子」が利用しており、家族用ホームページ中で「息子」の個人選択用アイコンが選択された場合には、サーバ7は、図6(c)に示すように、データベース25に息子の個人データとして各種のデータを分類して格納する。

【0065】また、携帯端末1では、携帯端末1の現在の利用者に対応しない個人選択用アイコンを選択していた場合(他の人を選択している場合)には、そのアイコンに対応する個人用ホームページ中で選択した各機能用のアイコン(図14(a)参照)、すなわちメールアイコンB、写真コーナーアイコンC、落書きコーナーアイコンD、ニュースコーナーアイコンE、出来事コーナーアイコンFから任意のアイコンを選択することによって、各アイコンに対応する処理を起動して個人データを閲覧することができる(ステップA13)。

【0066】サーバ7は、個人用ホームページ中で選択された各機能用のアイコンに対する指示に応じて、データベース25のHPデータ27に登録されている各種データを携帯端末1に提供して閲覧させる処理を実行する(ステップB13)。なお、各アイコンに対する指示によって実行される処理の詳細については後述する。

【0067】なお、携帯端末1では、独立して(サーバ7との接続の有無に関係なく)写真データ、落書きデータ(イメージデータ)、出来事データ(テキストデータ)の作成及び蓄積が可能である。すなわち、写真データについては、カメラ4によって任意の対象物が撮影されることによって蓄積することができる。また落書きデータについては、例えば図14(b)に示すような、落

書きコーナー処理用の画面を表示させ、ペン3を用いて手書き入力（描画処理）されたイメージデータを蓄積しておく。出来事データについては、文字入力によって各種の出来事を説明するテキストデータを作成して蓄積しておく。メールデータは、一般的な電子メールと同様にして作成される。各データは、それぞれメモリ15（データエリア15c）などにおいて記憶させておく。

【0068】こうして記憶されたデータは、サーバ7にアクセスし、家族ホームページ中の自分の個人選択用アイコンを選択することによって自動的にアップロードされ、ホームページデータ中の個人データとしてそれぞれ格納される（前述したステップA9、B10における処理）。

【0069】なお、携帯端末1に予め蓄積しておいたデータを全て無条件にサーバ7にアップロードするのではなく、アップロードの対象とするデータを任意に選択できるようにしても良い。アップロードの対象とするデータは、データ作成時に指定しておいても良いし、アップロード時に逐次各データに対する確認を行なうようにしても良い。

【0070】また、サーバ7にアップロードした写真データや落書きデータについては、自分のホームページ（第2層HP）のタイトル画として選択しても良いし、また任意に選択してメール送信を行っても良い。

【0071】このように、携帯端末1によりサーバ7に接続し、家族ホームページ中の自分に対応する個人選択用アイコンを選択することで、携帯端末1にそれまで蓄積しておいたデータをサーバ7にアップロードして、自分の個人用ホームページに関連するHPデータ（個人データ）としてデータベース25に蓄積することができる。すなわち、携帯端末1に用意した複数のデータをサーバ7にホームページと関連づけて登録するための特別な作業が不要であるので、誰にでも簡単に個人データの登録をすることができる。

【0072】次に、個人用ホームページに設けられた各アイコンに対する指示によって実行される処理の詳細について説明する。

【0073】前述したように、携帯端末1では、家族用ホームページ（第1層HP）において、他の人の個人選択用アイコンを選択することによって、そのアイコンに該当する人の個人データを閲覧することができる。

【0074】サーバ7は、選択された個人選択用アイコンに応じた個人用ホームページ（第2層HP）を携帯端末1において表示させ、そのホームページ中に設けられた各機能用のアイコンに対する指示に応じて、該当する個人データの内容をページにレイアウトして提示する。

【0075】例えば、写真コーナーアイコンが指示された場合、サーバ7は、HPデータ27の個人データとして登録されている写真データを取り出し、この写真データをもとにした写真をページ中にレイアウトして携帯端

末1に提供する。これによって、携帯端末1では、家族用ホームページで選択した個人選択用アイコンに対応する人の写真データについて閲覧することができる。

【0076】落書きコーナーアイコンDまたは出来事コーナーアイコンFが指示された場合についても同様に、個人データとして登録されている落書きデータまたは出来事データの内容をページにレイアウトして携帯端末1に提供される。

【0077】次に、落書きコーナーアイコンの選択によって実行される落書きコーナー処理について、図10に示すフローチャートを参照しながら説明する。なお、図10のフローチャートに示す処理は、家族用ホームページで、自分のアイコンを選択した場合の処理である。

【0078】例えば、図14（a）に示す落書きコーナーアイコンDが選択されると、サーバ7は、図14

（b）に示すような落書きコーナー処理用の画面を携帯端末1において表示させる。この画面中には、各種機能ボタン、色指定ボタン、終了ボタンなどの複数のボタンが設けられ、これらを用いてタッチパネル12上でのペン3を用いた手書き入力（描画処理）によって落書きデータとなるイメージデータの作成を行なうことができる（ステップE1）。

【0079】こうして、終了ボタンの選択によってペン入力が終了すると（ステップE2）、サーバ7は、図14（c）に示すような落書きコーナー処理用の処理メニューを表示させて、作成された落書きデータ（イメージデータ）をどのように扱うか選択させる（ステップE3）。処理メニューには、個人用ホームページの作成時にタイトル画として「落書き」が選択されていた場合には（図13（c）参照）、「タイトル画にする」の選択肢が設けられ、その他には、「メールを出す」「登録をする」の選択肢が設けられている。なお、個人用ホームページの作成時にタイトル画として「写真」が選択されている場合には（図13（c）参照）、「タイトル画にする」の選択肢を提示しないようにしても良い。

【0080】ここで、「タイトル画にする」の選択肢が選択された場合（ステップE4）、サーバ7は、携帯端末1において作成されたイメージデータを受信し、個人用ホームページ（第2層HP）のHPデータとして基本データに登録する（既に他のデータが登録されていた場合には更新）（ステップE5）。

【0081】また、「メールを出す」が選択された場合（ステップE6）、サーバ7は、基本データに格納されたメール宛先の対象となるデータに基づいて、メールの宛先を指定するための選択メニューを表示させ、その中から宛先を選択させる（ステップE7）。例えば、図14（d1）（d2）に示すような宛先選択メニューを携帯端末1の画面中に表示させる。

【0082】図14（d1）は、個人選択用アイコンと同様の家族構成のそれぞれに対応するアイコンを表示さ

10

20

30

40

50

せた例であり、図14(d2)は、基本データの「愛称」に登録された各人に対して通常用いられている呼び名の一覧が表示された例である。

【0083】このように、家族の各人に対応するアイコンパターン、あるいは普段使用している呼び名である愛称を宛先の選択肢として提示することで、一般に英数字列によって表されるメールアドレスを意識することなく、宛先を選択することができるようになり、誰もが容易にメールの宛先を指定することができる。また、家族の構成員についての宛先のみが提示されるので、これによっても宛先の指定が容易となる。

【0084】こうして、メールの宛先が選択されると、サーバ7は、選択された宛先(家族構成内の特定の人)に対応して基本データ中に登録されているメールアドレスをもとにメールを送信する(ステップE8)。この際、メール本文(テキストデータ)が別途作成されても良いし、図14(b)に示すようにして作成されたイメージデータのファイルを携帯端末1からサーバ7が受信し、これをメールの添付ファイルとして単に送るようにしても良い。

【0085】なお、図14(c)に示す「登録する」の選択肢が選択された場合、携帯端末1は、落書きによって作成されたイメージデータをサーバ7に送信する。サーバ7は、携帯端末1から受信したイメージデータを個人データ中に落書きデータとして登録する。

【0086】次に、写真コーナーアイコンの選択によって実行される写真コーナー処理、出来事コーナーアイコンの選択によって実行される出来事コーナー処理については、前述した落書きコーナー処理とほぼ同様にして実行されるので詳細な説明を省略する。すなわち、落書きコーナー処理におけるペン3による描画処理に代えて、写真コーナー処理ではカメラ4による撮像処理が実行され、出来事コーナー処理では文字入力による文章作成が実行される(ただし、出来事コーナー処理では、タイトル画の変更処理を行わない)。

【0087】なお、個人用ホームページに設けられるタイトル画については、前述したように、落書きコーナー処理あるいは写真コーナー処理において、新たに入力したデータを用いて変更することができるが、予め用意されたデータを用いてタイトル画の設定変更を行なうことができる。例えば、HP作成処理2において、タイトル種類として写真が選択されていた場合、予め携帯端末1に記憶させてある写真データをアップロードして表示させて、その中から選択させる、あるいは既にHPデータ27としてデータベース25に格納された写真データから選択させるようにしても良い。

【0088】次に、メールコーナー処理について、図11に示すフローチャートを参照しながら説明する。本実施形態ではメールコーナー処理では、基本的には、基本データに登録された家族構成の各人の間で電子メールの

送受信を行なうための処理である。

【0089】まず、携帯端末1において、自分(携帯端末1の現在の使用者)のホームページ(第2層HP)でメールコーナーアイコンが選択された場合(ステップF1)、サーバ7は、メール作成用の画面を表示させてメール作成を実行させる(ステップF2)。ここでは、メールの宛先の選択(ステップF21)、メール本文の作成(ステップF22)、添付データの選択/作成(ステップF23)を任意に指定して行なうことができる。

【0090】メール宛先の選択を行なう場合(ステップF21)、サーバ7は、基本データに格納されたメール宛先の対象となるデータに基づいて、図14(d1)(d2)に示すメール宛先選択画面を携帯端末1において表示させて、その中から選択させる。

【0091】また、メール本文の作成が指示された場合には(ステップF22)、文字列あるいはイメージデータの入力が行なわれ、メール本文のデータとして記憶される。また、添付データの選択が指示された場合には(ステップF23)、携帯端末1のメモリ15(データエリア15c)内に予め蓄積されているデータ、あるいはサーバ7の個人データに登録されているデータから任意に送信対象とするデータを選択するか、さらには落書きコーナーなどを別途起動してイメージデータを作成することによって行なう。

【0092】ここで、携帯端末1においてメール送信が指示されると、サーバ7は、ステップF2において作成されたメールデータを受信し、メール宛先に対応するHPデータ27の個人データ中にメールデータとして格納する(ステップF3)。

【0093】また、サーバ7は、自分(携帯端末1の現在の使用者)宛のメールデータが、個人データ中に登録されている場合には、そのメールデータを携帯端末1に送信する(ステップF4)。

【0094】一方、家族用ホームページ(第1層HP)において、他の人のアイコンを選択した場合には(ステップF1)、その人宛て用のメールの作成が行われる(ステップF5)。ここでは、メール本文の作成(ステップF51)、添付データの選択/作成(ステップF52)を任意に指定して、前述と同様にして実行することができる。

【0095】携帯端末1においてメール送信が指示されると、サーバ7は、ステップF5において作成されたメールデータを受信し、家族用ホームページで選択された個人選択用アイコンに対応するHPデータ27の個人データ中にメールデータとして格納する(ステップF6)。

【0096】このようにして、基本データに登録された家族構成の各人の間で容易にメールの送受信を行なうことができる。その際に、個人データ(写真データ、落書きデータ等)を添付データとして送信することができ

る。

【0097】なお、メールコーナー処理では、家族構成の各人の間におけるメールの送受信だけでなく、任意の指示によって他の設定によって一般の電子メールの送信を行なうことができるようにすることも可能であり、また他のシステムからの送信された電子メールの受信を行なうこともできる。

【0098】さらに、本実施形態におけるサーバ7では、携帯端末1からの指示に応じたメールの送信だけでなく、個人データの更新に応じたメール送信を行なうことができる。

【0099】すなわち、サーバ7のCPU20は、HPデータ27の個人データを監視しており、更新された場合には、その更新された個人データに対応する人以外の他の各人に対して、個人データの内容が更新されたことを通知するためのメールを作成し送信する。

【0100】例えば、落書きデータの更新が行われた場合に、「たろうくんのホームページに新しい絵が加わりました。見に来て下さい」のメールを送信する。これにより、他の人に対して個人データの閲覧を促すことができる。

【0101】ところで、本ネットワークシステムにおけるサーバ7では、家族コミュニケーションサービスを利用している利用者に対してニュース配信を行なうことができる。例えば、個人用ホームページ（第2層HP）のニュースアイコンEを選択することで、ニュース配信についての設定を行なうことができる。

【0102】ここでは、ニュース配信を行なうが否か、嗜好データの指定を行なうことができる。嗜好データを指定することで、この嗜好データに該当するニュースのみの配信を行われることができる。嗜好データの指定が行われた場合、CPU20は、ニュースコーナーでの選択を行った人の個人データの嗜好フラグをオンすると共に、指定された嗜好データの内容を登録しておく。

【0103】図12にはニュース配信処理のフローチャートを示している。

【0104】CPU20は、一定時間が経過する毎に、データベース25に格納されたニュースデータ28の配信を行なう（ステップG1）、その際に、ニュース配信の対象となる人のHPデータ27中の個人データの嗜好フラグを参照し、オンされているか否かを判別する（ステップG2）。

【0105】オンされていた場合には、個人データ中に登録されている嗜好データをもとにして、ニュースデータ28中に送信対象とするニュースデータから、ニュース情報を抽出し、その人用のニュース情報を特定する（ステップG3）。

【0106】以下、同様にして、ニュース配信の対象とするそれぞれの人の個人データを参照して、嗜好フラグがオンされている場合には、それぞれについて嗜好デー

タに基づくニュース情報の抽出を行なう（ステップG2、G3、G4、G5）。

【0107】こうして、全てのニュース情報の抽出が終了すると、それらのニュース情報をそれぞれの宛先に配信する（ステップG6）。なお、当然ながら嗜好フラグがオフであった場合には（ステップG2）、ニュースデータ28に登録された配信対象とするニュース情報の全てが送信されることになる。

【0108】このようにして、各人が任意に指定する嗜好データをもとにニュース情報を抽出することで、個人が要求するニュース情報のみを得ることができ、無駄な情報のために発生する無駄な時間を省略することができる。なお、嗜好データは、ニュースデータ28から特定の内容のニュース情報を抽出するために用いているが、個人データとしてHPデータ27に登録される各種のデータに適用することもできる。すなわち、個人データの閲覧が行われる際に、閲覧を行なう人の個人データ中に登録された嗜好データをもとに閲覧対象とするデータを抽出する。

【0109】また、前述した説明では、サーバ7によって提供される家族コミュニケーションサービスを例にして説明しているが、家族以外にも複数人によって構成されるグループであれば本発明を適用することが可能である。また、携帯端末1は、図1に示す形態に限るものではなく、その他の一般的な情報機器を用いることが可能である。

【0110】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、端末装置がネットワークを介してサーバ装置と接続することで、サーバ装置から画面情報（ホームページ）を作成するための情報が提供され、これに対する指示をサーバ装置に返すことで端末装置に対応する画面情報がサーバ装置において作成される。この画面情報が作成されると、端末装置から各種の情報をサーバ装置に送信（アップロード）することによってこれらのデータが画面情報と関連づけて蓄積される。サーバ装置に蓄積されたデータは、端末装置において表示された画面情報に対する指示に応じて読み出され端末装置に提供されて閲覧される。従って、ホームページの作成、各種データのサーバに対するアップロード、サーバ装置に蓄積された特定のデータの閲覧などの操作内容に熟知していなくても、サーバ装置から提供される情報に対する指示のみでホームページの作成と、このホームページを通じた各種情報の提供と閲覧を容易に行なうことが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施形態におけるネットワークシステムで用いられる携帯端末1の外観構成の一例を示す図。

【図2】本実施形態におけるネットワークシステムの構成を示す図。

【図3】本実施形態における携帯端末1の構成を示すブ

ロック図。

【図 4】本実施形態におけるサーバ 7 の構成を示すブロック図。

【図 5】サーバ 7 のデータベース 25 に用意される HP 作成用データ 26 の一例を示す図。

【図 6】サーバ 7 のデータベース 25 に格納される HP データ 27 の一例を示す図。

【図 7】携帯端末 1 の動作について説明するフローチャート。

【図 8】サーバ 7 の動作を説明するフローチャート。

【図 9】HP 作成処理 1, 2 の動作を表すフローチャート。

【図 10】落書きコーナー処理について説明するフローチャート。

【図 11】メールコーナー処理について説明するフローチャート。

【図 12】ニュース配信処理について説明するフローチャート。

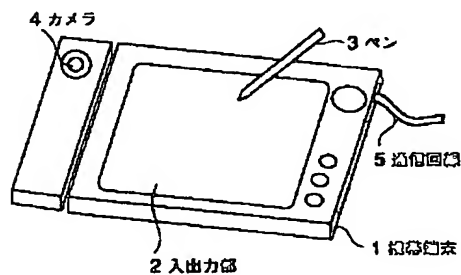
【図 13】携帯端末 1 における表示画面の一例を示す図。

【図 14】携帯端末 1 における表示画面の一例を示す図。

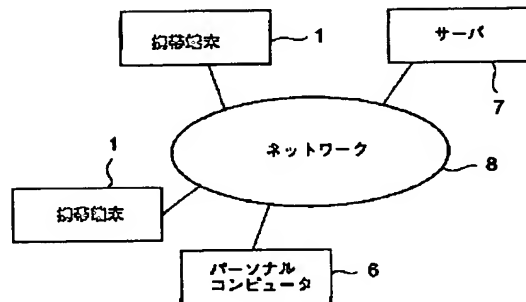
【符号の説明】

- 1…携帯端末
- 2…入出力部
- 3…ペン
- 4…カメラ
- 5…通信回線
- 6…パーソナルコンピュータ
- 7…サーバ
- 8…ネットワーク
- 10, 20…CPU
- 11…表示装置
- 12…タッチパネル
- 13…カメラ
- 14, 24…通信装置
- 15…メモリ
- 21…RAM
- 22…記憶装置
- 23…記憶媒体
- 25…データベース
- 26…HP 作成用データ
- 27…HP データ
- 28…ニュースデータ

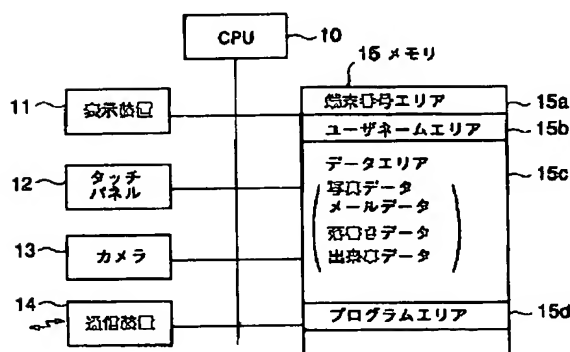
【図 1】



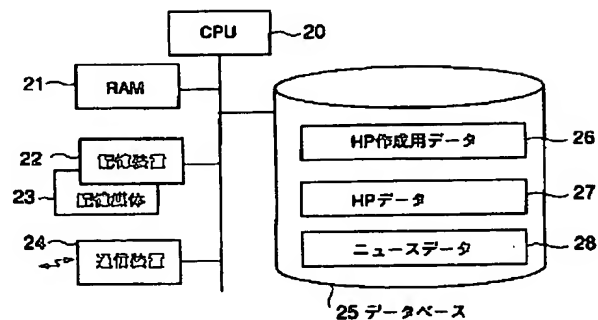
【図 2】



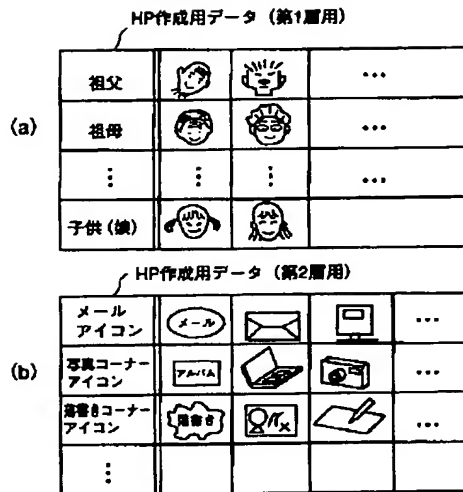
【図 3】



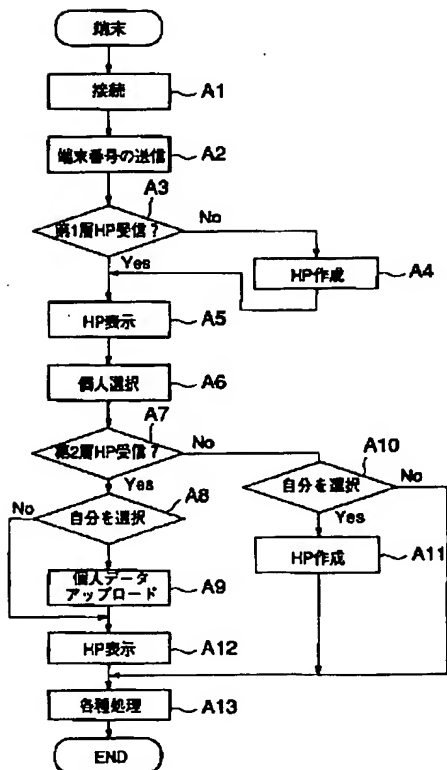
【図 4】



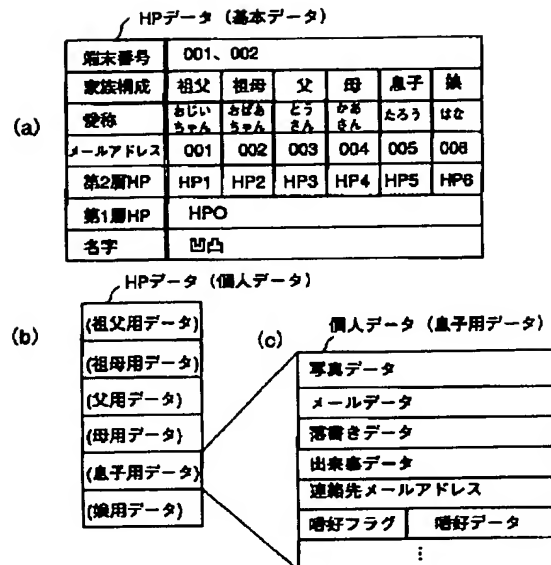
【図5】



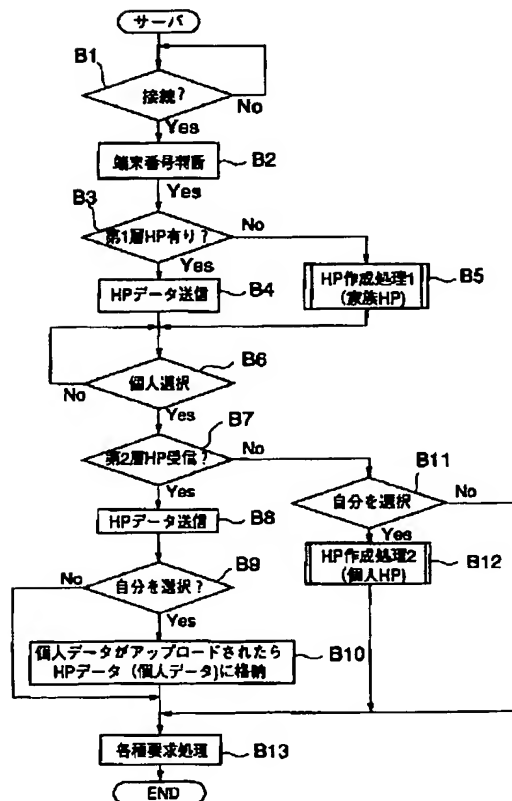
【図7】



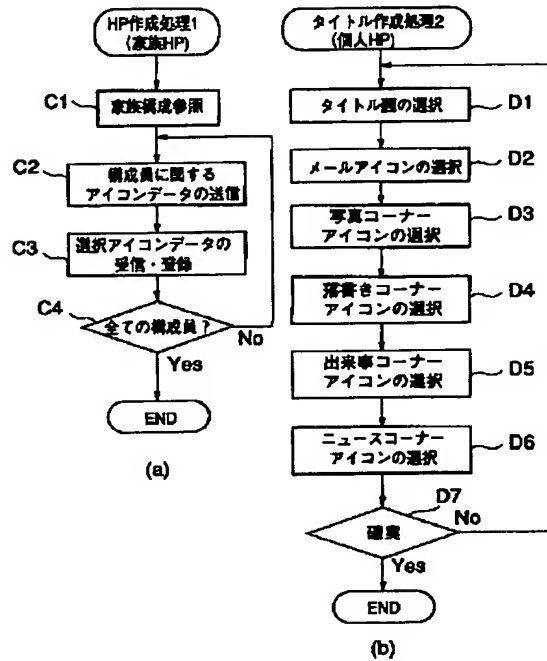
【図6】



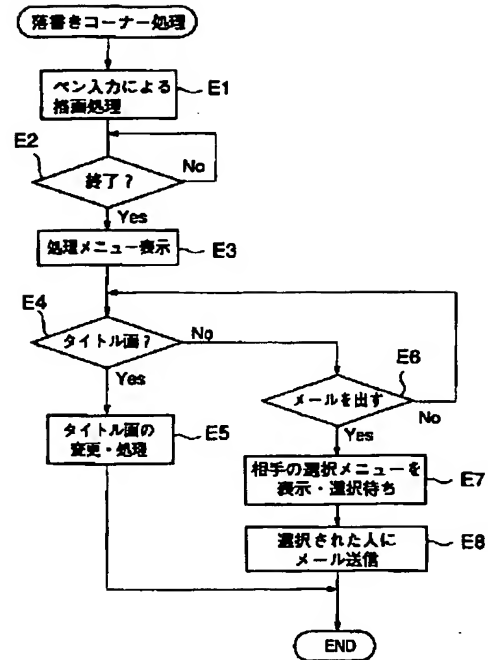
【図8】



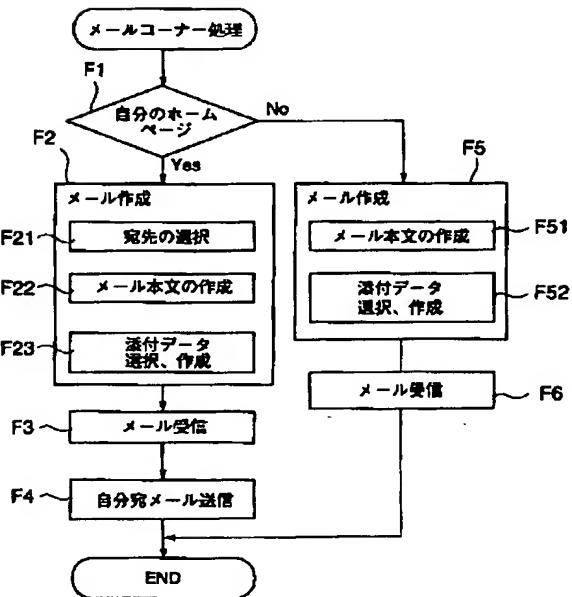
【図9】



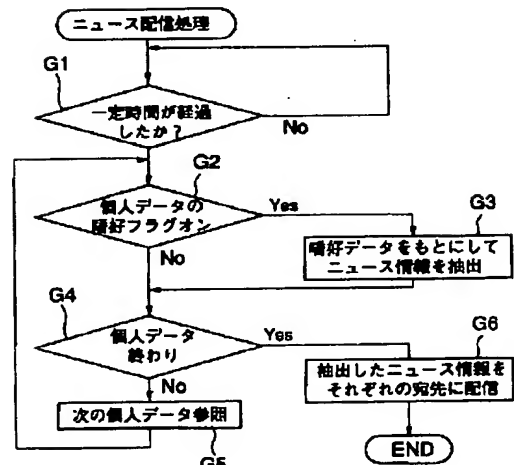
【図10】



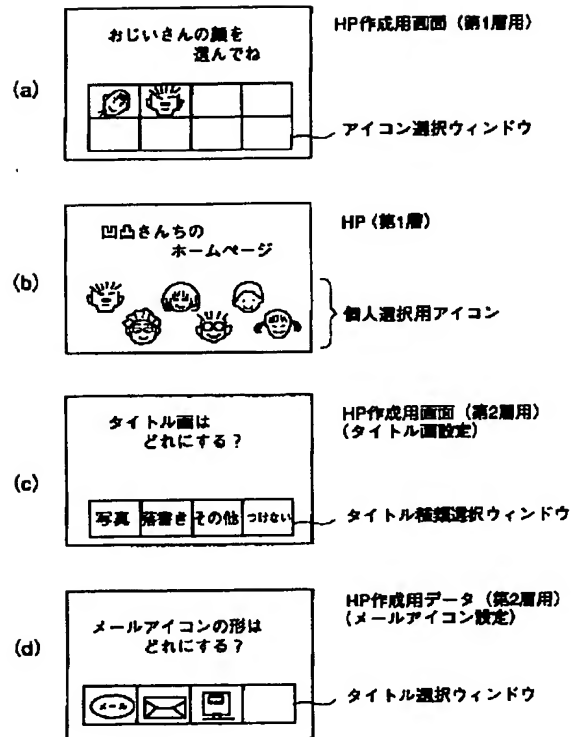
【図11】



【図12】



【図13】



【図14】

